



	学校名・学年	氏名	題名
最優秀賞	五日市中学校2年	坂本 珠実	母との約束
優秀賞	五日市中学校2年	田中 花	悔いのない人生
優秀賞	西中学校2年	成川由利子	あたりまえ
優良賞	秋多中学校2年	野邑依音利	人と人をつなぐあいさつ
優良賞	東中学校2年	延命 友	生物の大切さ
優良賞	御堂中学校3年	奥原 菜子	三年間の部活動を振り返って
優良賞	西中学校2年	飯田 芯太	本当のあいさつ
優良賞	東海大学菅生高等学校中部1年	宮田 美緒	インターネットが必須となった現代を生きるには
優良賞	増戸中学校1年	渡邊 一太	「いじめ」と向き合う「人」と向き合う
優良賞	増戸中学校2年	神田 紗都	認め合って、受け入れる。
優良賞	御堂中学校2年	田口 翼	甲子園の開会式について
優良賞	秋多中学校2年	吉岡 佑菜	「私」が「僕」であること
優良賞	東海大学菅生高等学校中部3年	尾崎 悠衣	共に生きる
優良賞	東中学校1年	綿谷 祐駆	今できる事、今しかできない事

令和4年12月3日(土)に、年、中学生の主張大会と同会場第27回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会を秋川キラウホールで開催しました。本大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、2年間開催を見合わせていましたが、今回3年ぶりの開催となりました。

中学生の主張大会は、市内在住・在学の中学生の応募者1396人の中から選ばれた14人の生徒が、日常生活を通じて考えていることや願い、希望などを発表しました。なお、例

最優秀賞を受賞した坂本さんには、令和5年あきる野市議会第1回定例会開会会議に先立ち、議場において発表をしていただきました。

審査員による発表審査の結果、次のとおり最優秀賞、優秀賞及び優良賞を決定しました。(敬称略)

最優秀賞を受賞した作品を紹介します。

母との約束
五日市中学校2年
坂本 珠実

私には幼稚園に通っていた頃から夢があります。それは将来、医者の事に就きたいというものです。夢をもったきっかけは、自分の持っていたおもちゃの中にあつたお医者さんのなりきりセットです。それで母や妹とお医者さんごっこをしているうちに、私も本当にお医者さんになって人を助けたいと思うようになりました。それを母に伝えたら、

「じゃあ珠実、お医者さんになってお母さんを治してね。」
と言われました。私は「うん。」
とうなずき母と約束しました。しかしその時の夢というのは子どもがなりたいと簡単に考えていた夢で、実際に努力して本当に医者になりたいのかと聞かれると、そうではなかったと思います。

この夢が私の中で大きく変化したのは小学校六年生の夏です。母が倒れ、入院することになりました。またこの頃はコロナウイルス感染予防のため面会が禁止されていました。母の病は臍臓がんでした。これはがん

の中でも一番難しいと言われるもので、がんが見つかったときにはもう遅いというケースが多いものでした。実際母も、もう手遅れだと言われました。とてもショックでした。母はもともと体が悪く、常に体調が悪いという体質の人でした。なんで母ばかり辛いめにあわなければならぬのかと何度も思いました。

コロナ禍では面会も禁止で、ずっと病室で一人だった母のことを思うと今でも涙が出ます。そんな母を元気づけてくれたのが一人の看護師の方でした。その方は病気の面ではなく心のケアで患者を支えてくれる方で、母が生前その方と色々な話をして笑顔を見せていたと父に聞きました。また母が入院してから二ヶ月経たずに亡くなってしまったとき、その方は涙を流して悲しんでくれました。入院していた病院は大きな病院だったので、その方は看護師をしていく以上、たくさんさんの人の死に立ち会ってきたと思います。それでも患者一人の死に対して涙を流せるというのは本当にいい人だと思い、感謝の思いでいっぱいになりました。

そして私は母の死を受け止め、一つの決断をしました。将来医者になって、母のような辛い思いをする人を、一人でも助けるということです。私は幼いとき、医者になって母を助けると約束しました。しかしその約束は果たせませんでした。そのため、私は辛い思いをする人を一人でも助け、母が入院した病院にいた看護師の方のような患者とその家族の心に寄り添えるような医者になりたいです。それは決して簡単なことではないと分かっています。それでも家族のため、友人のため、これから出会う人のため、母のため、一人一人のために尽くせる医者を目指し、何事も諦めずに努力して、生きていきたいです。

